

建築プロジェクトの 当事者参画推進 セミナー 2025

TOJISHA-UD

主催 日本福祉のまちづくり学会「当事者参画とUD評価特別研究委員会」
共催 日本建築士会連合会、東京建築士会、DPI日本会議、日本視覚障害者団体連合
後援 国土交通省、文部科学省、東京都（予定）

2025

12

23

13:30

16:30

@Zoom ウェビナー+会場 50名
(東京建築士会) 東京都中央区日本橋富沢町 11-1
富沢町 111 ビル 5 階

開催趣旨

東京 2020 オリパラ大会以降のバリアフリー政策の動きの中で、東京都福祉局は 2024 年 3 月「当事者参画で進めるユニバーサルデザインの施設づくり」を、国交省住宅局は 2025 年 6 月「建築プロジェクトの当事者参画のガイドライン」を発出しました。国は 2030 年度時点で都道府県・政令市等の公共特別特定建築物の設計で当事者参画を 100%とする目標を立てています。本セミナーの目的は、建築プロジェクトの当事者参画の意義を理解し、当事者参画を推進する人材の確保です。今後、私どもでは「建築プロジェクトの当事者参画プラットフォーム (TOJISHA-UD)」を構築し、全国各地の皆さんからの相談事業を展開します。セミナーへの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

セミナー内容

総合司会：菅原麻衣子（日本福祉のまちづくり学会、東洋大学）

13:30 開会

挨拶

杉野友香（国土交通省住宅局建築指導課）
小野田吉純（日本建築士会連合会）

セミナー開催趣旨と当事者参画プラットフォーム (TOJISHA-UD) 構想

高橋儀平
(TOJISHA-UD プラットフォーム、日本福祉のまちづくり学会当事者参画とUD評価特別研究委員会委員長)

建築プロジェクトの当事者参画への期待と意義

- ① 佐藤聡（DPI 日本会議）
- ② 渡部安世（全日本難聴者・中途失聴者団体連合会）
- ③ 三宅隆（日本視覚障害者団体連合）
- ④ 川口孝男（日本建築士会連合会まちづくり委員会福祉まちづくり部会）

解説：国交省「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」

杉野友香

〈休憩〉15 分

当事者参画設計好事例を学ぶー当事者・設計者・行政それぞれの立場から

当事者

- ① 工藤登志子（DPI 日本会議）
- ② 逢坂忠（日本視覚障害者団体連合）

設計者

- ③ 石井隆司（愛知建築士会）
松橋雅子（秋田県建築士会）
- ④ 高橋秀通（日建設計）

行政

- ⑤ 坪井正幸（水戸市政策企画課）
- ⑥ 小川侑太（府中市総務管理部新庁舎建設推進室）

討論と質疑

進行：高橋儀平

閉会挨拶・お知らせ

佐藤克志（日本福祉のまちづくり学会、日本女子大学）
お知らせ：菅原麻衣子

16:30 閉会

情報保障

文字要約筆記+手話通訳
車椅子使用者で会場参加の方は
お知らせ下さい。

CPD 認定講座 (3 単位)

希望者は CPD 番号と名前を申込先まで
お知らせ下さい。
また、当日ウェビナーにご参加
いただく際は、Zoom の表示名を
CPD 番号+名前に変更しご参加下さい。

資料代

主催共催団体会員：2000 円
非会員：3000 円、学生：1000 円
資料はメール配信

申込先

https://eventregist.com/e/TOJISHA-UD_2025 からお願いします。
申込締切：12 月 15 日（火）

〔セミナー問い合わせ〕 tojisha.semi@gmail.com

〔ご案内〕当事者参画プラットフォーム「TOJISHA-UD」へのご相談は下記までお願いします。
tojisha.ud@gmail.com



参加 QR コード▶